



令和元年度決算報告 決算のあらましと市の財政状況

令和元年度(平成31年4月～令和2年3月)の決算についてお知らせします。 [問い合わせ](#) 財政課 ☎24・8144

■特別会計(5会計)の決算 (単位：億円)

会計名	収入	支出	差引
国民健康保険	102.8	102.1	0.7
介護保険	98.8	97.0	1.8
後期高齢者医療	15.6	15.6	-
産業団地	0.7	0.7	-
公債管理	92.4	92.4	-
合計	310.3	307.8	2.5

特別会計と企業会計

市の会計には「一般会計」と別に、国民健康保険や介護保険など特定の事業を運営する「特別会計」と、病院や水道など「民間企業のように事業収益を集めて運営する「企業会計」があります。

※企業会計では、資本的収支の不足分を、事業を運営して生じる純利益と現金支出を伴わない費用から生じる内部留保資金で補っています。

■企業会計(3会計)の決算 (単位：億円)

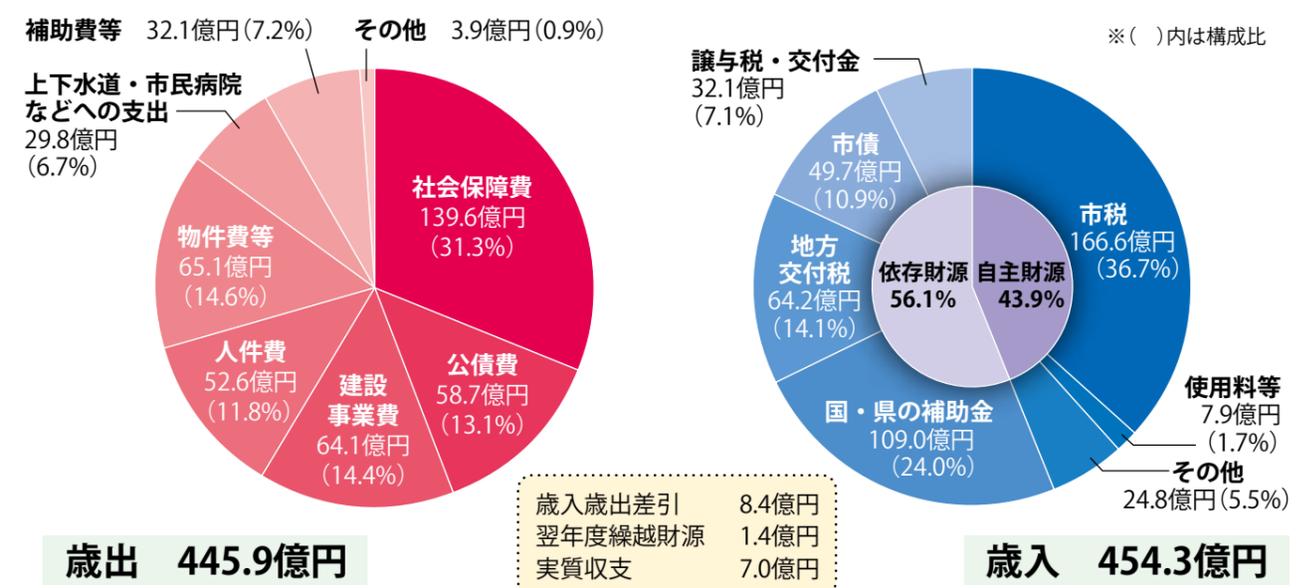
会計名	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道	26.8	22.0	4.8	1.1	11.0	▲ 9.9
下水道	41.9	40.7	1.2	26.7	44.5	▲ 17.8
市民病院	84.6	83.8	0.8	7.9	10.5	▲ 2.6
合計	153.3	146.5	6.8	35.7	66.0	▲ 30.3

※収益的収支
1年間の営業結果を表します。
※資本的収支
施設の建設や整備に関する収支です。



決算の内容をさらに詳しく知りたい人へ
令和元年度決算の内容を分かりやすくまとめた冊子「決算のあらまし」を作成しました。ご希望の場合は、財政課までご連絡ください。なお、市ホームページでもご覧になれます。

一般会計の決算



令和元年度決算の特徴

世界経済の影響を受け歳入減
歳入では、個人住民税、固定資産税は前年度より増加しましたが、世界経済減速の影響などで法人市民税が減少し、市税全体では約3・4億円の減少となりました。

未来への投資
歳出では、公立小松大学末広・粟津キャンパスや松東みどり学園の整備、幼児教育・保育の無償化など、子育て・教育環境の充実を図りました。また、若城センターのリニューアルや西尾小学校跡地活用など、学びの環境の充実や里山振興に向けて整備を進めたほか、北陸新幹線小松駅開業や臨空ゾーン活用に向けたプランづくり、地域ブランド力の向上、SDGs 未来都市の推進など、未来志向でまちが発展するための様々な施策を実施しました。

収支状況は、扶助費を含む社会保障費が年々増加していますが、効率的な予算執行と固定費抑制に努めたほか、感染症拡大に備え、7億円の黒字を確保しました。

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 (一般会計の赤字度合い)	なし (赤字はありません)	なし (赤字はありません)	なし (赤字はありません)	12.01%	20%
連結実質赤字比率 (全会計を通じた赤字度合い)	なし (赤字はありません)	なし (赤字はありません)	なし (赤字はありません)	17.01%	30%
実質公債費比率 (市の借金返済額の割合)	16.0%	15.6%	14.3%	25.0%	35%
将来負担比率 (市が抱えている負債の割合)	162.0%	150.6%	142.2%	350.0%	基準なし
資金不足比率 (企業会計の資金不足の度合い)	なし (資金不足はありません)	なし (資金不足はありません)	なし (資金不足はありません)	経営健全化基準 20.0%	基準なし

健全化判断比率の状況

健全化判断比率については、全項目で国が定めた早期健全化基準・財政再生基準を下回っています。また、実質公債費比率や将来負担比率は改善しています。

今後も引き続き、健全な財政運営に努めていきます。

